

◎概要

行政や医療機関だけでなく南部地域に暮らすすべての住民が、南部地域の目標、現状、課題を共有し、目指す姿の実現に向けて地域全体で取組を進めていくため、南部地域医療福祉ビジョンの「見える化」を行います。

◎経緯と理由

南部地域では、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目標に、「一人ひとりが健康で心豊かに暮らせる地域」を実現するために南部地域医療福祉ビジョンを策定し、取組を進めてきましたが、主に行政が実施する事業や取組など「手段」についての記載が中心となっています。

しかし、目指し姿の実現のためには行政や一部の医療機関だけではなく、地域住民やすべての医療従事者と協働して取組を進めていくことが重要であり、そのためには既存のビジョンをより身近で平易な表現を用いて整理し、「手段」ではなく「目指す姿」がすべての住民に伝わるように「見える化」することが必要です。

◎効果

- ・南部地域ではどの分野の取組が進んでいるか、反対にどの分野の取組が遅れているかを一目で確認することができるようになります。
- ・「住民」「地域」「医療福祉」というそれぞれの主体が各分野での自分たちの目指す姿を確認しやすくなり、主体的な取組に繋がります。




◎今後

現状としては事務局で作成した素案の段階です。仮で設定させていただいている「目標」や「指標」に関してまして、皆様の意見をいただきながら活用を目指していきたいと思っております。

「一人ひとりが健康で心豊かに暮らせる地域」を実現するために

南部地域では、「一人ひとりが健康で心豊かに暮らせる地域」を実現するために、「住民」「地域」「医療福祉」のそれぞれが「目指す姿」を共有し、ビジョン実現のためには何が必要で、そのためには何ができるかということが、誰にでも一目でわかるようにこの「見える化ビジョン」を作成しました。

住民のみなさんの健康づくりや地域づくり、医療関係者の皆様の日々の取組が、目指す姿への一步一步の着実な歩みとなっていることを実感していただき、さらに歩みを進めていただければ幸いです。

| 一人ひとりが健康で心豊かに暮らせる地域 | | | | |
|---|----------------------------|---|---|--|
| | | I. 一人ひとりが健康的な習慣を身につけ、病気を予防したり早期発見することができる | II. 誰もが望む場所・方法で安心して医療福祉サービスを受けられる | III. 高齢者をはじめとする誰もが、住み慣れた地域で安心して暮らし、本人が望む形で人生の最期を迎えることができる |
|  | 目指す 住民 の姿 | 一人ひとりが健康維持や病気の予防に必要な知識や習慣を身に付けており、自分や家族の健康を守るために行動している | 一人ひとりが医療サービスに関する正しい知識を持ち、適切な方法で不安なく受診や治療、入退院を行っている。 | 本 人や家族が望む生活や最後を思い描き、そのために自ら様々な活動を行うとともに必要な医療・介護サービスを適切に利用している。 |
|  | 目指す 地域 の姿 | 住 民が暮らす地域や、企業や事業所などの働く場において、様々な年代や背景を持つ人が健康を維持するための積極的な支援が行われている | 診 療所や薬局、福祉事業所など、地域の医療福祉機関が連携し、住民の受診や治療、入退院を支えている。 | 認 知症をはじめとした様々な病気や障害を持つ人や高齢の人、そしてその家族を地域全体で見守り、支えあいながら暮らし続けることができる |
|  | 目指す 医療福祉 の姿 | 医 療機関や行政の連携により、すべての住民が健康を維持し、病気の予防や早期発見を行うために必要な支援体制が整えられている。 | 5 疾病5事業および在宅医療の医療連携体制が構築され、誰もが必要な治療やサービスの提供を受けることができる。 | 望 む場所で治療を受けながら生活し、最期を迎えることができるように支援する体制や制度が整っている |

I. 一人ひとりが健康的な習慣を身につけ、病気を予防したり早期発見することができている

| 指標 | 評価 |
|--------------|----|
| 健康寿命と平均寿命との差 | |



目指す住民の姿



目指す地域の姿



目指す医療福祉の姿

★ 一人ひとりが健康維持や病気の予防に必要な知識や習慣を身に付けており、自分や家族の健康を守るために行動している

★ 住民が暮らす地域や、企業や事業所などの働く場において、様々な年代や背景を持つ人が健康を維持するための積極的な支援が行われている

★ 医療機関や行政の連携により、すべての住民が健康を維持し、病気の予防や早期発見を行うために必要な支援体制が整えられている。

| 指標 | 評価 |
|-----------------|----|
| 適正体重を維持している人の増加 | |
| 高血圧の改善 | |

| 指標 | 評価 |
|-------------------------|----|
| 居住地域でお互いに助け合っていると思う人の割合 | |

| 指標 | 評価 |
|----|----|
| | |

| ①健康的な生活習慣を身につけている | |
|---------------------------|--|
| バランスのとれた食事に気を付けている人の割合 | |
| 12歳児の一人平均虫歯数 | |
| 運動習慣者の割合 | |
| 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合 | |

| ①地域での健康推進が活発に行われている | |
|-------------------------------|--|
| 健康づくりを目的とした活動に主体的に関わっている団体の割合 | |
| 食品中の食塩や脂肪の低減等に取り組む飲食店の登録数 | |

| ①健康や病気に関する相談体制が整備されている | |
|---|--|
| 健康づくりに関して身近で気楽に専門的な支援相談が受けられる民間団体の活動拠点数増加 | |
| 医療相談窓口を設置している病院数 | |

| ②喫煙のリスクを理解し、喫煙率が低下している | |
|------------------------|--|
| 成人の喫煙率の減少(男性) | |
| 成人の喫煙率の減少(女性) | |

| ②働く場での健康推進が活発に行われている | |
|-----------------------------------|--|
| 健康経営や健康づくりの活動に取り組み、自発的に情報発信を行う企業数 | |
| メンタルヘルスケアを実施している事業所の割合 | |

| ②健康診断の精度が高く、適切な治療につながっている | |
|---------------------------|--|
| がん発見率 | |
| 陽性反応適中度 | |

| ③健康診断等を活用して病気の早期発見ができている | |
|--------------------------|--|
| がん検診の受診率(各がん毎、性別毎) | |
| 特定検診・特定保健指導実施率 | |

| ③健康的な職場環境整備・働き方改革が広がっている | |
|---|--|
| ワークライフバランスの取組で労働時間削減を実施している事業所の割合の増加(総労働時間) | |

| ③すべての医療機関が緊密に連携し、それぞれの強みを生かしたケアを行っている | |
|---------------------------------------|--|
| | |

| ④生きがいを持ち、こころの健康を保って生活している | |
|---------------------------|--|
| 自殺死亡率の割合(10万対) | |
| 睡眠による休養を十分に取れていない人の割合 | |

| ④住民が健康を維持しやすい街づくりが行われている | |
|-------------------------------|--|
| 住民が運動しやすいまちづくり・環境整備に取り組む市町の増加 | |

Ⅱ. 誰もが望む場所・方法で安心して医療福祉サービスを受けられる

| 指標 | 評価 |
|------------------------|----|
| 75歳未満年齢調整死亡率(人口10万対) | |
| 三大疾病(がん・急性心筋梗塞・脳卒中)死亡率 | |



目指す住民の姿



目指す地域の姿










目指す医療福祉の姿





★一人ひとりが医療サービスに関する正しい知識を持ち、適切な方法で不安なく受診や治療、入退院を行っている。

★診療所や薬局、福祉事業所など、地域の医療福祉機関が連携し、住民の受診や治療、入退院を支えている。

★5疾病5事業および在宅医療の医療連携体制が構築され、誰もが必要な治療やサービスの提供を受けることができる。

| 指標 | 評価 |
|--|----|
|  ①自分の健康状態や疾病について理解し、受診や服薬など必要な医療サービスを正しく利用している | |
| かかりつけ医を決めている | |
| 電子お薬手帳の普及率 | |
|  ②十分な説明を受けたいうえで、安心して治療を受けたり入退院を行っている | |
|  ③献血や臓器移植の必要性について理解し、自分のできることを積極的に行っている | |
| 骨髄提供希望登録者数 | |
| 全献血者に占める10代～20代の割合 | |
|  ④地域の中で不安を感じることなく妊娠・出産・子育てを行うことができる。 | |
| 小児在宅受け入れ可能な訪問看護ステーション | |
| 産後ケア事業の取組市町数の増加 | |

| 指標 | 評価 |
|---|----|
|  ①診療所や薬局などの地域の医療機関が、住民に身近なものとして活用されている | |
| 訪問診療を行う診療所 | |
| 在宅医療支援薬局数 | |
|  ②診療所や薬局などの地域の医療機関が、病院とも必要な連携をとって住民の支援を行っている | |
|  ③事業所等が感染症や食中毒等に関する正しい知識を持ち、予防や対策ができています。 | |
| 年間営業施設立ち入り調査割合 | |

| 指標 | 評価 |
|---|----|
| 急性心筋梗塞年齢調整死亡率の減少 | |
| 大動脈瘤および乖離の年齢調整死亡率の減少 | |
|  ①必要とされる医療を過不足なく提供できる資源と体制が整っている。 | |
| 初期臨床研修医採用数 | |
| 産婦人科医採用数 | |
|  ②救急時の医療体制が充実しており、迅速に必要な治療を提供できる。 | |
| 重症患者における受け入れ医療機関決定までの照会回数が4回以上の割合 | |
| 小児救急搬送症例における受け入れ不可となった件数の割合 | |
|  ③病院間での医療連携体制や、地域の診療所を支援するための連携体制が整っている。 | |
| 地域連携クリティカルパス実施病院 | |
|  ④災害時等の非常時でも地域で必要な医療が受けられるよう体制が整っている。 | |
| DMATチーム数および有資格者数 | |
| 避難行動要支援者名簿の情報提供市町数 | |

Ⅲ. 高齢者をはじめとする誰もが、住み慣れた地域で安心して暮らし、本人が望む形で人生の最期を迎えることができる

| 指標 | 評価 |
|---------------------------------|----|
| 健康寿命と平均寿命との差 | |
| 認知症になっても地域で安心して暮らし続けられると答える人の割合 | |



目指す住民の姿



目指す地域の姿



目指す医療福祉の姿

★ 本人や家族が望む生活や最後を思い描き、そのために自ら様々な活動を行うとともに必要な医療・介護サービスを適切に利用している。

★ 認知症をはじめとした様々な病気や障害を持つ人や高齢の人、そしてその家族を地域全体で見守り、支えあいながら暮らし続けることができている

★ 望む場所で治療を受けながら生活し、最期を迎えることができるように支援する体制や制度が整っている

| 指標 | 評価 |
|--------------------------------------|----|
| あなたはどの程度幸せですかという設問に〇〇点以上の回答をする高齢者の割合 | |

| 指標 | 評価 |
|----|----|
| | |

| 指標 | 評価 |
|-------------|----|
| 訪問診療を受けた患者数 | |



① 自身や家族の病気や心身の状況を正しく理解し、希望する治療や最後について考え、話しあっている

| | |
|------------------------|--|
| エンディングノートをすでに書いている人の割合 | |
| | |
| | |



① 地域での見守りや支えあいが浸透し、高齢者や認知症の方が安心して地域に出かけることができている

| | |
|------------------------------|--|
| 認知症キャラバンメイト数 | |
| 心配ごとや愚痴を聞いてくれる人に「近隣」を挙げる人の割合 | |
| 認知症高齢者見守りネットワーク加盟事業所数 | |



① 在宅医療・介護の提供体制が充実し、すべての人に必要なサービスを提供できている

| | |
|-------------------------|--|
| 訪問診療を受けることができる年間実患者数 | |
| 認知症相談医数 | |
| 24時間体制をとっている訪問看護ステーション数 | |



② 加齢や病気によって身体機能が低下しても、できるだけ長く自立した生活を送るための活動をしている

| | |
|-----------------|--|
| 週一回以上外出している人の割合 | |
| 地域での活動に参加している割合 | |
| | |



② 診療所などの一次医療機関が整備され、訪問診療などの在宅医療サービスの提供体制が整っている

| | |
|------------|--|
| 訪問診療を行う診療所 | |
| 在宅医療支援薬局数 | |
| | |



② 在宅医療・介護にかかわるすべての職種が、緊密な連携を取り、最適なケアを提供できている

| | |
|-----------------------|--|
| 入院時の病院と介護支援専門員との情報連携率 | |
| | |



③ 本人が望む生活を送り、最後を迎えることができるよう家族や周りの人が無理なく支援できている

| | |
|---------------------|--|
| 在宅死亡数 | |
| 自宅で最後まで療養できると思う人の割合 | |
| 介護離職者の割合 | |



③ 在宅での介護・リハビリテーションの提供体制が整っており、利用者にあった質の高いサービスが提供されている

| | |
|--------------------|--|
| 訪問リハ患者数 | |
| 介護サービス事業者の自己評価の実施率 | |
| | |



③ 介護保険事業が適正に運営され、利用者が質の高いサービスを利用できる体制が整っている

| | |
|--|--|
| | |
| | |



④ 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるための住環境整備の支援体制が整っている。

| | |
|----------------------------------|--|
| 特別養護老人ホームの整備量(定員数) | |
| 高齢者生活支援施設を併設するサービス付き高齢者向け住宅の整備割合 | |